

防災対策

町民の皆様が確固たる裏づけのもとで安心して暮らせる町を目指して

安全・安心して暮らせる町づくりを推進していきます

被害の想定を高く設定して計画してほしいな

質問

防災意識の向上と有事の際の備えという観点から、①地盤災害の予防と交通ネットワークの整備について ②河川砂防及び治山施設の安全化について ③27カ所の避難所と新規設定について。

建設課長他 ①土砂災害防止法に基づき周知を図り、非常時の情報提供や迅速な避難体制を構築します。また、アク



島崎隆夫 議員

質問

①自主防災組織と自主防災組織づくりの進捗について ②防災行政無線の利用の多様化について ③防犯カメラ設置について。

質問

総務課長他 ①自主防災組織は28行政区。自主防犯組織は1103名が登録 ②放送目的や必



災害時医療拠点「日赤」を視察勉強してきました

③町が設置することは地域住民の要望や心情に配慮した上で真に必要な場合のみであると考えます。

質問

空き家対策について①町が考える空き家の数は②苦情等により、ここ2年で講じた対応と成果は ③今後の対応策は。

質問

環境保全課長 空き家の定義はありませんが、町水道の休止件数は2030件です ②所有者に対して文書や口頭で指導や助言をし、2年間で6件の解決をしました ③小川町環境保全条例の規定に基づき対応していきます。

いつやるか？ いまでしょ！



戸口 勝 議員

健康づくり

何をしてもまずは健康

住民参加のネットワーク構築が必要です

質問

日本人の平均寿命は男性79・44歳、女性85・90歳であり、2020年の埼玉県老年人口割合は28・9%。当町は35・8%と予測されており、県内5位に順位づけされている。このような状況を見据え、今後どのように取り組むのか。また、栃本親水公園から延びる遊歩道が仙元山見晴らしの丘公園を結び、さらに兜川へと分岐する遊歩道があったら、皆さんだけ歩きたくなくなるだろうか。きつと歩き続けたくなくと思う。

このように、自主的に歩くことで偶然の出会いがある。こんな社会整備の計画を国では推進しているが、町ではどうか。

質問

健康増進課長 指摘のとおり推移し、同時にひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯増加が考えられ、家庭内介護力の低下も予測されます。さらに高齢化と家族による介護力の低下

その他の質問

◎ふるさと支援隊

により、介護保険給付の増大が予想されます。そこで、住民参加の健康づくりネットワークの構築により、地域の介護力強化が必要と考えています。所管だけで解決するには大きな問題ですので、町として各課と協議して研究してみたいと思います。

町民みなさんのひろば

わたしのひとこと



社会人から地域人へ

くろはかずこ 大塚三区 黒羽和子



心をいやしてくれる桜並木。知る人ぞ知る名所「仙覚律師遺跡」は、隠しておきたくなるほど美しい桜吹雪です。

このあたり一帯は数年前に整備され、うっそうと茂っていた木々がすっきりとし、名所と成り得る場所に生まれ変わりました。

大梅寺に向かう桜並木の道路にレンガを敷き詰めれば、車も遠慮してゆっくりと通り、お花見ができる道になることでしょう。

この地区のいいところは、風景ばかりではありません。住民の方の温かさです。

母は老人会を楽しみにしています。区長さんをはじめ、何人かの退職された男性の方が世話役を買って出て、いろいろ工夫をし会を盛りたててくれているようです。さすが社会でもまれた男性陣は頼もしい。先輩方を見ていると、第2の人生が楽しみでもあります。

高齢化社会の地域協同作業に一考

かんだはるお 木部 神田治雄



最近、地域協同作業が非常に多く抱えていると強く感じています。例えば、木部区では町のモデル地区として、資源ごみの分別を立ち会いで行なっています。しかし、町全体の盛り上げりの欠如、地区の人々の加齢、冬の寒い朝の長い立ち会いによる健康面への影響等を考えた場合、続行を断念したいというのが私の考えです。

道路愛護や河川清掃などについても、別の問題があります。本来やむを得ない事情により参加できない人の救済措置を逆手にとって、協力しない人も見られますし、年老いた人が無理しているのではないかとこの姿も見られます。神社等の祭事や寺の行事等も、同様の問題点があるように思えます。

ありふれたひとり言かも知れませんが、若者が老人をいたわり、積極的に地域社会の協同作業に参加してくれることを望みます。



栃本親水公園から伸びる遊歩道